

寄附のお手続き

1 ふるさと納税制度の活用

ア 企業版ふるさと納税(県外企業のみ)

本社所在地が県外の場合、企業版ふるさと納税をご活用いただけます。寄附対象プロジェクトの欄で、『みんなで子育て』長崎子育て応援プロジェクトをお選び下さい。



イ 個人版ふるさと納税(ふるさと長崎応援寄附金)

寄附金の活用方法の欄で、「長崎県の子育て応援」をお選び下さい。



2 基金への直接寄附(納付書によるお支払い)

「寄附申込書」に必要事項をご記入の上、郵便、ファックス又は電子メールにおいてお申込み下さい。受付後、納付書等を送付いたします。

郵送 〒850-8570 長崎市尾上町3-1

長崎県 こども未来課 こども企画班

詳しくはこち
ら



FAX 095-895-2681

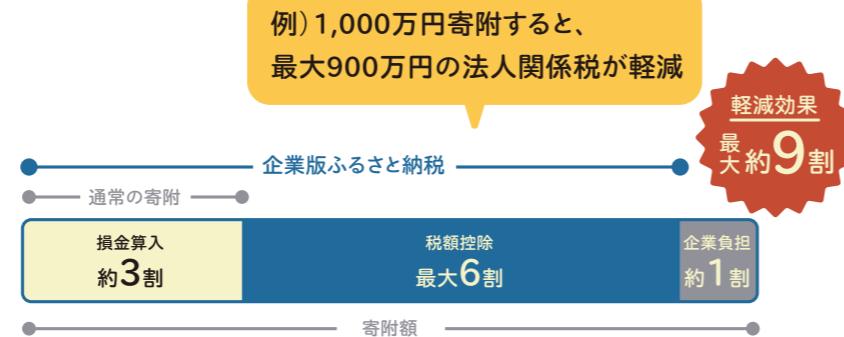
メール kodomobasho@pref.nagasaki.lg.jp

税制上の優遇措置

企業版ふるさと納税(県外企業)を活用した寄附

長崎県外に本社がある法人が寄附を行った場合、最大で約9割の税の軽減効果が得られます。※1回あたり10万円以上の寄附が対象

税負担軽減イメージ



個人版ふるさと納税(ふるさと長崎応援寄附金)を活用した寄附

寄附額のうち2千円を超える部分について、所得税・個人住民税から全額が控除される制度です。

所得や家族構成に応じて控除額が異なります。
詳しくは右側のQRコードから確認下さい。



長崎県こども未来応援基金への直接寄附

法人からの寄附 寄附額が全額、損金算入、約3割の法人税等の軽減効果があります

個人からの寄附 所得控除の対象となります(寄附額から2千円を引いた額で総所得の40%が限度)

※税制の優遇措置について、詳しくはお近くの税務署にお問合せ下さい



お問合せ先

長崎県 福祉保健部 こども未来課
〒850-8570 長崎市尾上町3-1
TEL: 095-895-2681
メール: kodomobasho@pref.nagasaki.lg.jp



長崎県こども未来応援基金

こどもが主役、みんなで育てよう

わたしたちがめざしたいもの

なぜつくったの?

いつの時代もこどもは社会の宝であり、未来への希望です。こどもたちの未来は長崎県の未来そのものであり、「こどもたちへの投資を未来への投資」と捉え、将来を担うこどもたちが健やかに成長し、多様な活躍につながる社会を実現させたいと考えています。こどもたちの健やかな成長を後押しするため、ぜひ、皆さまからの温かいご支援をよろしくお願ひいたします。

長崎県こども未来応援基金とは

県では、「こどもが夢や希望を持って健やかに成長できる社会」の実現をめざし、新たに「長崎県こども未来応援基金」を設置しました。

本基金では、「こども場所」を充実させるため、

- ① こどもの居場所の立上げ や
- ② ワクワクする様々な体験の提供

に対する支援に活用します。

その他、こどもに関する様々な取組にも活用します。

基金活用の例

1 こどもの居場所の立上げ

食や交流



遊び



学び



2 ワクワクする様々な体験の提供

自然体験



職業体験



先端技術のふれ合い



その他 こどもに関する様々な取組の例

保育人材の確保



子どもの医療費助成



子育てに関する意識醸成・気運の醸成



こどもが主役! 「こども場所推進プロジェクト」

こどもを取り巻く背景

地域コミュニティの変化



地域のつながりの希薄化、少子化の進展により、地域でこどもが育つことが難しくなっています

複雑・複合化した課題



虐待や、不登校・自殺者の増など、こどもを取り巻く環境が厳しくなっています

価値観の多様化



価値観の多様化に伴い、居場所のニーズも多様化しています

こどもの居場所を小学校区数設置

ワクワクする様々な体験が選べる環境

こどもの安心と挑戦をサポート

安全・安心に過ごせる
こどもの居場所が身近にある

安心



ワクワクする様々な体験
挑戦

安心と挑戦を循環

「こども場所」の現状について、
県内の小・中・高校生に聞いてみました!

こどもたちはどう思ってるの?

自宅や学校以外に過ごせる「こどもの居場所」が足りない!

「居場所が身近にある」と答えたこどもは、48%に留まっています



居場所では、
好きなことを自由にやりたい!

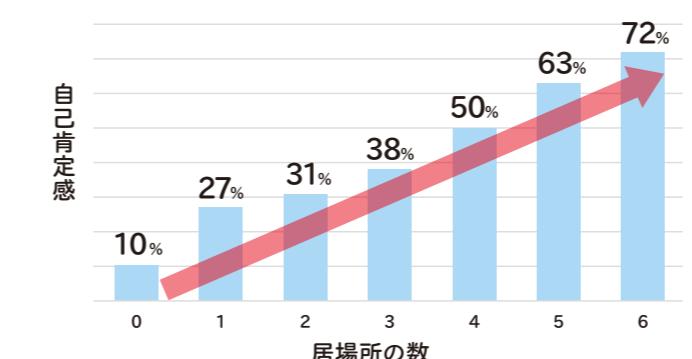
居場所でやりたいこと

- 1位 好きなことをして自由に過ごす 60%
- 2位 外遊びなど身体を動かす 32%
- 3位 一人でのんびり過ごす 29%

例)
●友達と
おしゃべりしたい
●自習したい
●ゆっくり本を
読みたいなど

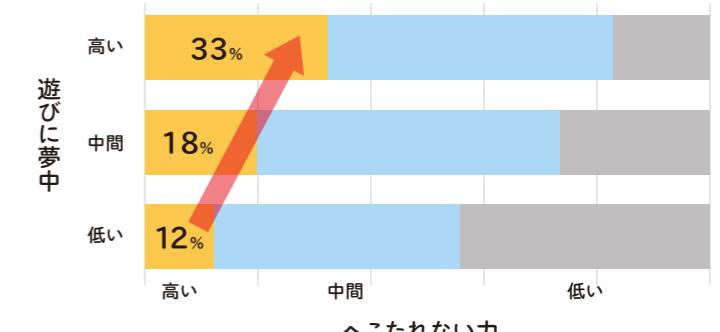
なぜ、居場所や体験が必要なの?

居場所が多いほど、自己肯定感が高い傾向にあります



【内閣府 子供・若者白書(令和4年版)】

遊びに夢中だった人ほど
社会を生き抜く力が高い傾向にあります



国立青少年教育振興機構「子供の頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究」